

# 星 屑

VOL. 278  
May '98



卓上望遠鏡 Meade EXT

## シリーズ 観測所訪問 再開第1回

### 「猫屋敷の屋上観測所 in 城南」

中島 尚

しばらく前に各地の観測所を紹介するという企画がありました。しかし、その後担当者の多忙のため、途絶えたままになってしまいました。今回再びこのシリーズを再開することにしたのですが、これからは観測所だけではなく会員のみなさんの観測スタイルの紹介も入れていきたいと思います。これからのシリーズにご期待ください。

さて、第1回目ですがやはり安易な方向に企画は流れ、私の自宅屋上の観測所を紹介させていただきます。次回以降は4月のTalk aboutで検討してみます。

#### 1. 観測所建設・・・感謝感謝の嫁さんの一声

誰でも自宅に自前の観測所を持ちたいと思うのは、天体を趣味としている者にとっては当たり前です。でも、なかなか実現できないのも事実です。なぜ？ それは、おかねがかかるからです。そこで一番大きな障害は「よめさん」です。しかし、私の場合は大変恵まれていました。10年前に家を新築したとき、「あんた屋上に上がられるようにしとかんでよかんね？」「なんでー？」「屋上で星ば見らんとね？」「屋上にどうやって上ると？」「階段ば付けとけばよかでしょう。」「おかねがかかるよ・・・」「どうせ借金すつとだけん、100万や200万増えても同じよ。今しとこう。」「あ、ありがとう！！」ということで、2階のベランダから屋上へのぼる螺旋階段と屋上手すりがつきました。

本当に感謝感謝の  
気持ちでいっぱいです。

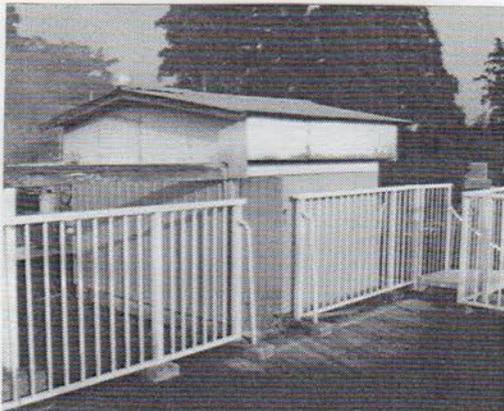
(これだけ書いておけば、きっとまたいいことがあるに違いない・・・)



## 2. いよいよ建設へ

こうして完成した屋上でしばらく星を眺めていましたが、やはりいちいち望遠鏡を持ち出すのは大変です。だんだん観測所が欲しくなりました。そのころ、あちこちで観測所を作るのがブームになってきていたので、私も作りたいたいという気持ちが強くなってきました。こうして、平成2年の夏休みにとうとう観測所建設を始めました。観測所といってもスライディングルーフで2.1m四方の小さいものです。しかし、熊本は台風の被害の大きいところですので。とにかく頑丈に作ることを考えて、取り組んでいきました。

土台はブロック一段積みで、アンカーボルトを埋め込んでいます。この作業が一番きつい仕事で、夏の暑い中セメントをこねて屋上に運びあげるのが大変でした。小学校2年生の息子もセメントをこてで押さえる手伝いをしてくれましたが、よめさんはただ「がんばってね！！」の言葉だけでした。思わぬ成果として、長年悩まされてきた腰痛が嘘のようによくなりました。たぶん腹筋背筋が鍛えられたからに違いありません。高所恐怖症もずいぶんとよくなってしまいました。



全景



ルーフが開いたところ

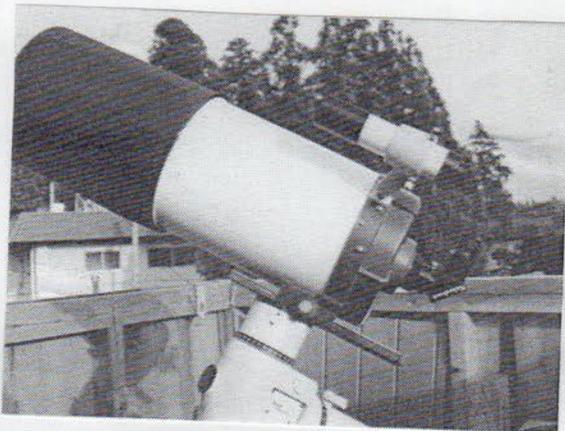
こうして完成した土台の上に観測所の骨組みを組み立てていきましたが、一番困ったのがレールの部分の雨じまいです。どうしたら雨が降り込まず、作るのが簡単かを一番に考えましたが、なかなか悩まれたところです。結局ひさしから壁をおろして、下の部分の壁にかぶせることで、多少動きは悪

くなりますが風も入らずにうまくいきました。屋根の固定は、掛けがねだけでは強度不足ということでかすがいをばんばん打ち込んでしまうという、原始的な方法を採用しています。でも、この方法で例の19号台風にも見事に耐えてくれました。

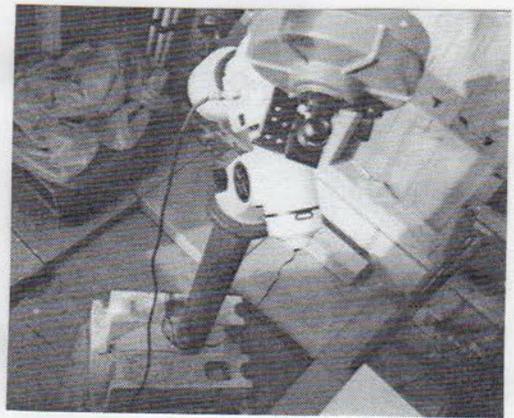
### 3. 望遠鏡は？

さて、中に据え付けた赤道儀ですが、高橋のEM-200を小林さんから譲ってもらってピラーに固定し使っています。望遠鏡はセレストロンのC-8を主に使います。現在は、冷却CCDカメラで写真を作るのが主な使い方です。主な機材を以下に示します。

赤道儀	高橋	EM-200
望遠鏡	セレストロン	C-8等
冷却CCD	ビットラン	BT-11C
その他写真レンズ等		



C-8 + EM 200



ピラー- 観測

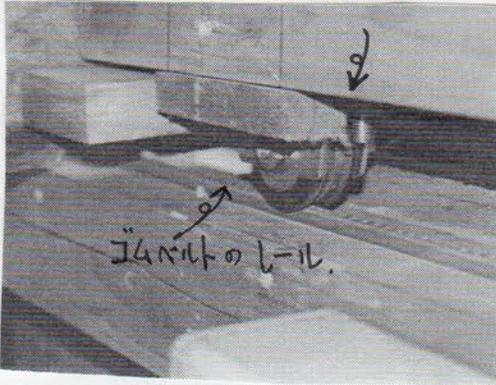
### 4. 終わりに

こんな観測所ですが、家の屋上ですぐに撮影に取りかかることができるのは何とも便利なものです。撮像したデータをそのまま2階の自分の部屋のコンピュータに送り込み、処理はゆっくりとあとでやることができます。これは本当に便利で、ハールボップ彗星の時には朝撮像した画像をそのままウェブに公開して、

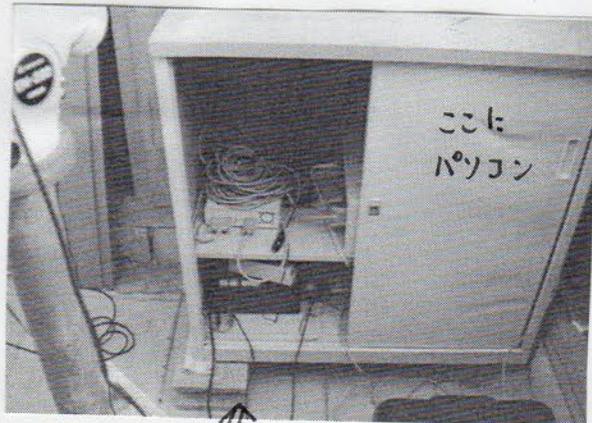
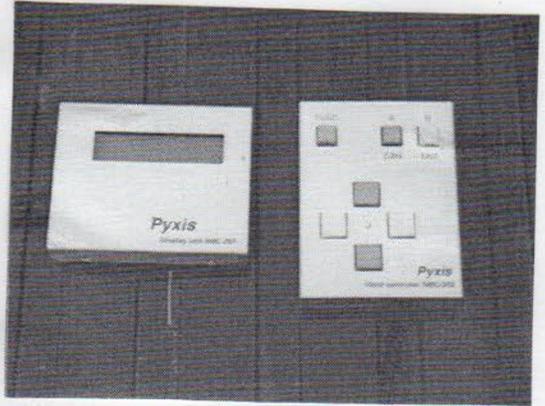
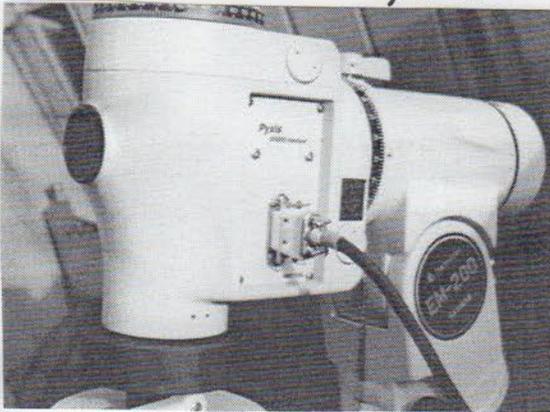
仕事に出かけることができました。本当に起きてから撮像開始まで15分ほどです。

これからも、ぼちぼちバンの度に撮像をしていきたいと思います。

重量陣



Pyxis ... 天体自動導入装置

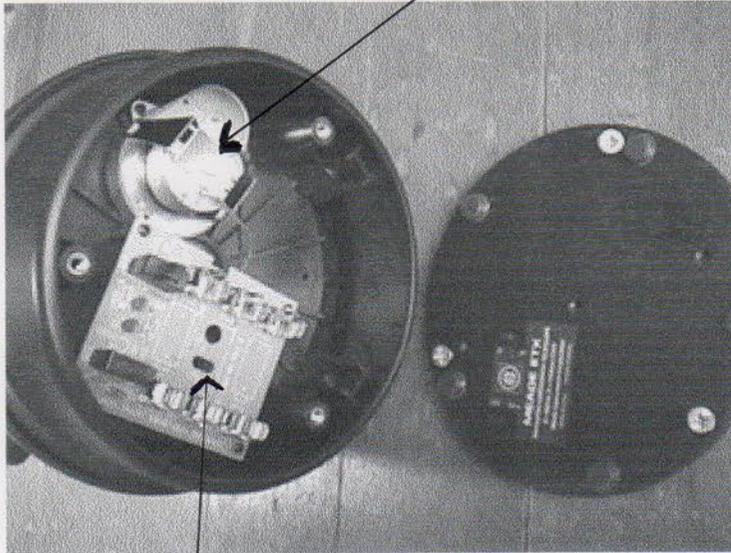


100倍速以上で  
CCDの視野の中に  
びんびん天体が  
入ってきます。  
買、てよかったです!!

観測室の中は コードの 束がい、多い!!

## ☆ Meade ETX 使用レポート ☆

最近、天文雑誌等で見かけるあの望遠鏡。はじめ見たとき、へー面白い望遠鏡だなー日本ではこんな作らんなーなんて思っていたら、何故か望遠鏡が手元に・・・。見た目には軽そうでしたが、持ってみると意外に重い。意外に大きい。でもポータブルである。赤道義のモーターは単3電池3本で駆動。恒星時運転のみで、南北切り替えスイッチがありました。赤経モーター



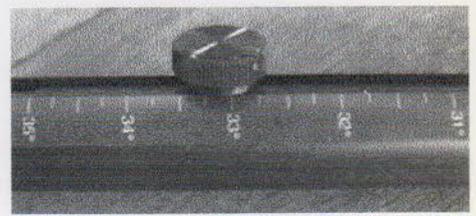
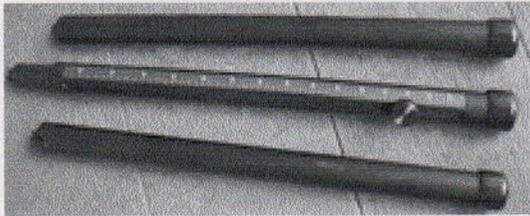
底蓋を外したところです。この底蓋、とても重い。これは、おもりを兼ねているみたいです。

モーターのON-OFFは、底にありました。写真では判りにくいのですが、その横に、南北切り替えスイッチがあり、南半球でも使える使用になっています。

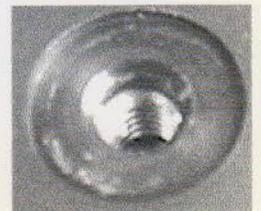
ここに乾電池を入れる

3本の足が付属しています、その1本だけに目盛りが付いていて長さを調節できるようになっていました。目盛りは緯度が書かれていました。観測場所の緯度に合わせれば、たちまち赤道義に変身です。

見えます？ 33° に合わせたのですが・・・



さて、組立です。脚を本体にねじ込むのですが、本体のネジキャップを外して脚を・・・あれ、奥にネジ山がある。右の写真を見て頂ければ判るかと思いますが、プラスチックのケースの中に、鈍く光るネジ山・・・脚には5回転分ほどネジ山があるのですが、実際は2山分しか入らない・・・グラグラはしませんが、ちょっと不安。もっとねじ込み出来ればと思いました。

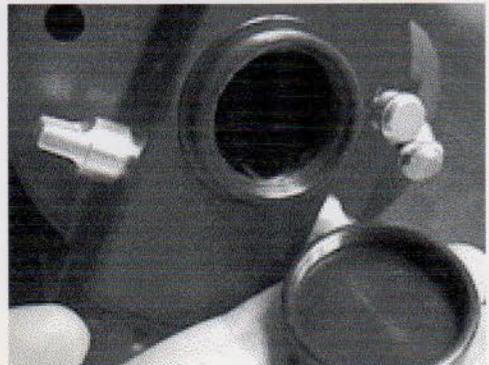


赤道義と経緯台兼用のフォーク式、地上を見る場合を考えてでしょうか。8×21の小さなファインダーです。右の写真と比べて下さい。付属のアイピース、31.7mmタイプが1本付属していたのですが、ほぼ同じ大きさでした。このファインダー、嬉しいことに正立ファインダー。地上望遠鏡としても使用できるようにでしょうか？望遠鏡本体の像は、上下は正しく見えますが、左右は逆に見えます。天頂プリズムを使用したときと同じですね。



カラーでお見せできないのが残念です、マルチコートがとてもきれいですよ。右の写真はキャップ？です。その、キャップ？（日本語版説明書には、ダストキャップと書いてあった）なのですが、金属なんです。たいていの物はプラスチックではめ込み、というパターンが殆どだと思いますけど、金属でねじ込み式というのにはちょっと驚きでした。

さて、実際に使用してみました。雑誌には、屋外で（当たり前ですね）テーブルの上にETXが乗っています。ところが、ないんです。屋外に出すテーブルが。これでは使えない。レポートが書けない！！と考えたあげく、よし、それではと家の中から寝っ転がって見ることにしました。しかし、悪い事は続くものです。なんと家の中からでは星が見えない。（当たり前でした）じゃあしょうがない、地上を見よう、てなことで、地上を見てのレポートです。先ほどの地上望遠鏡としても、というのはここからきていたのでした。地上用としては、申し分ありません。オプションのエレクティングプリズムを望遠鏡に取り付けば、望遠鏡からでも視野は正立になります。接眼部は、天頂プリズムを内蔵したような構造で、上から覗きます。カメラADやプリズムは、主鏡の真後ろ、シュミカセの接眼部にあたる場所に取り付けます。普段はここ金属キャップで閉じています。



最後に。使用レポートというよりは、使い方の説明みたいになってしまいました。天気も最近ずっと悪かったし・・・。ほとんど言い訳ですね。気軽に星を見るのには、小さくて便利だと思います。あとは、キャンプ用のテーブル購入ですね。

いきなりのポカポカ陽気になりましたね。桜も満開と思いきや、雨。花見も出来ずにトホホです。桜は、熊本と高知が一番のりでしたね。ということは・・・散るのも一番？なんか、いやですね。あー宴会が一。

★お知らせ★

熊本県民天文台の総会が、5月下旬に開催されます。場所・日時は後日、葉書にて御連絡致します。皆様の御参加、お待ちしております。

★5月の天文現象&行事★

- 2日(土) 八十八夜
- 3日(日) 上弦(19:04)
- 5日(火) 水星が西方最大離角(26°43'.6 光度0.5等)
- 6日(水) 立夏 水瓶座 $\eta$ 流星群が極大
- 8日(金) 月が最遠(405859km)
- 9日(土) トークアバウト(20:0~)
- 11日(月) 満月(23:29)
- 19日(火) 下弦(13:35)
- 24日(日) 月が最近(361653km)
- 26日(火) 新月(04:32)

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1998年5月号 通巻278号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ [http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO\\_TST.HTML](http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML)